

ウエルの
今を
深掘り！

WELL 通信

34

2026.10.OCTOBER [ウエル通信]



特集

グループホーム特集 |

地域とのつながりを深め 支え合いで築く安心の支援

ウエルの 輝く人



それぞれの持ち場で輝く、ウエルグループの職員をご紹介します。

“生涯現役”を目指します

宙豊中 | 調理補助 橋本三代子さん



お食事を運んだ時に、入居者様とお話をすることも。笑顔を見せると、私もうれしくなります。

調理補助の橋本さんは、現在84歳。入職以来約10年にわたり、バスや電車を乗り継いで通勤し、休むこともほとんどなく週3回働いています。長く続けられる理由は、「年齢に関係なく、支え合って仕事ができる仲間がいることです」と橋本さん。

いつも感謝の気持ちを忘れず、仲間の誕生日も記憶して、当日は「おめでとう」の言葉も欠かしません。その気遣いが、支え合う関係性につながっています。

「この年で働く場所があることがとてもうれしい。健康に気をつけて、ウエルグループが目指す“生涯現役”に応えたいと思います」と橋本さん。はつらつと活躍する、ウエルグループの一員です。

「時間内で自分の仕事を全うすることに達成感を感じます」



事業所
PICK
UP

住宅型有料老人ホーム 庵とよなか庄本

■豊中市庄本町1-7-26 ■06-6331-3737 ■定員:33名



私たちがお迎えします！

「ここが我が家」と思っていただけ、心休まる場所を目指して

世代を越えて地域とつながる

庵とよなか庄本は、比較的低価格な料金設定のため、生活保護を受給されている方など、経済的にゆとりのない方も安心してご利用いただけます。経済状況を把握しているケースワーカーとも連携し、体調不良時の入院など、必要な支援を速やかに提供できる体制を整えています。

また、ケアマネジャーとの連携により、利用者様の状態の変化に応じた福祉用具を迅速に導入しています。こうしたきめ細やかな対応が、利用者様の身体的な負担の軽減とADLの維持につながっています。

看護面では、ウエルグループの訪問看護サービスによる24時間対応が可能です。さらに、介護度が変化した際には、グループ内の特別養護老人ホームへのご案内など、サービスの切り替えも円滑にサポートしています。



います。

看護師の訪問時には、口頭での申し送りに加え、連絡用のノートも活用することで、情報の行き違いが起きない体制を整えています。処置後には報告を受け、今後の介護についても指導を仰いでいます。

デジタル化が進む中でも、口頭でのやりとりといったアナログのコミュニケーションを大切にすることで、職員同士の日頃の声掛けも活発になり、確かな情報連携につながっています。

気持ちによりそい、安心の暮らしを

豊かな生活を送っていただくには、おいしいお食事が欠かせません。庵とよなか庄本のお食事は、施設内の厨房で手作りしています。利用者様からの評判もよく、その満足感あってか、入居年数が10年以上に及ぶ方が多いことも特徴です。

もう一つ選ばれ続ける理由が、ケアや移動など少しの時間にも利用者様と雑談を楽しむ、職員の日々のよりそいです。ある利用者様は、認知症による心の揺らぎから日々状態が変化していました。お困りごとや不安に耳を傾け続けてきたある日、「あなたがいてくれてよかった」と涙を流されました。少しでも安心いただいていることを実感できた瞬間でした。楽しい生活を送っていただくために力を尽くす。この姿勢を今後も忘れず、「ここが我が家だ」と思っていただけの心休まる場所でありたいと思います。



徹底した 情報連携

こうした連携がスムーズに機能するのは、施設内の情報共有を徹底しているためです。職員一人ひとりが、利用者様の日々の小さな変化も見逃さないよう細やかに観察しています。変化に気づいた際は、訪問看護サービスへ速やかに連絡します。生活背景まで含めた利用者様の情報を細やかに共有できる点がグループ内連携の利点です。写真なども用いて状態を共有し、助言を受けながら適切に対応して

います。



ウエルグループ | 入所系・通所系サービスのご相談は、下記の事業所へ直接ご連絡ください。QRコードから、それぞれの連絡先をご覧ください。

豊中市

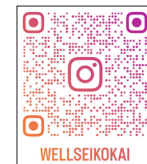
- ①清豊苑 [特]
- ②利倉清豊苑 [地/デ/グ/小/定]
- ③美豊苑 [特/ケ]
- ④刀根山美豊苑 [地/デ]
- ⑤輝豊苑 [デ/グ]
- ⑥ウエルケアプランセンター

- ⑦ウエリスト [小/デ]
- ⑧社会福祉法人香聖会 宙(すばる)豊中 [地/グ/小]
- ⑨庵とよなか庄本 [有]
- ⑩エターナル緑地 [有]

宝塚市

- ⑪宝塚清光苑 [特/デ/グ/小/ケ/定]
- 芦屋市
- ⑫陽光苑 [地/デ/グ]
- 西宮市
- ⑬バセム西宮 [有]
- ⑭ケアプランセンター西宮清光苑

[特]特別養護老人ホーム [地]地域密着型特別養護老人ホーム [デ]デイサービス [グ]グループホーム
[小]小規模多機能型居宅介護施設 [ケ]ケアプランセンター [有]有料老人ホーム [定]定期巡回サービス



地域とのつながりを深め 支え合いで築く安心の支援

地域交流の取り組み

■グループホーム利倉清豊苑

地域の飲食店へお連れし、普段とは違ったお食事を楽しんでいただいています。利用者様はもちろん、ご家族からも好評です。ほかにも、近隣の小学校や地域の行事に参加したり、小学校の皆さんの訪問を受けたりと、定期的に地域とつながる機会を設けています。



■グループホーム輝豊苑

近隣のコミュニティセンターで毎月開かれる認知症力フエに、利用者様と職員で参加しています。お茶を飲みながら会話を楽しみ、体操や昔遊びなどを通じて交流を深めています。今年は、地域の小学校で開かれる敬老会にも訪問させていただきました。



■グループホーム宙豊中

地域の方々に向けて開催してきた認知症カフェ「宙（すばる）カフェ」に、利用者様にもご参加いただいています。地域の参加者の方々と一緒に楽しむ体操やクイズ、時には地域ボランティアによるハンドマッサージなど、多彩なレクリエーションを取り入れています。



■ともに過ごす時間が 相互の理解につながる

Q…地域との交流でどんな効果が生まれていますか？

本川…地域の方々はお元気な方が多く、利用者様とは介護度に違いがあります。しかし、だからこそ交流によって良い効果が生まれています。地域の方が話しかけてくださると、利用者様が懸命に返事をしようとして、表情も生き生きとされます。

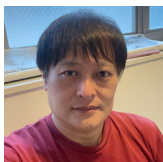
大賀…私たちが参加する認知症力フエでも、ボランティアの方を含め毎回20名ほどが集まるため、利用者様は普段とは違ってさまざまな方とお話できます。



グループホーム利倉清豊苑 管理者
服部雅樹



宙豊中 施設長・管理者
本川裕之



グループホーム輝豊苑 管理者
大賀康生



古くからのお友達と再会する機会にもなり、思い出話に花が咲いて笑顔を見せてくださることもあります。体操などの時間には、普段より集中力が高まっているのを感じます。

服部…普段は不安が強くなりがちな方も、外出すると安定するようです。また、この様子をSNSで発信することで、ご家族や地域の方々に取り組みをご覧いただき、施設への理解も深まっていると思います。

本川…宙力フエでは、ご希望の方に施設の見学ツアーも実施しています。参加いただいた方からは「高齢者施設のイメージが変わった」という感想をいただきました。閉鎖的な場所を思い描いていた方も、広く明るいリビングやお部屋をご覧になり、生活感のある、安心して過ごせる場所だと感じていただけたようです。

■事業所連携で取り組みの継続を

Q…工夫していることは？

大賀…外出には、現地までお連れして見守る職員の確保が必要です。当日は出勤する職員を増やすなど、人員体制を整えていきます。ただし、認知症力フエの場合は、大人数で参加すると主催者の負担になりかねません。パランスを見極めながら進めていきます。

服部…飲食店での食事では、嚥下に問題がある方も食べられるメニューがあるか事前にリサーチし、お店の方ともやりとりをして慎重

に進めています。人員確保の面では、グループ内の他の事業所と共同開催できればと、個人的には思います。連携しながら、職員にも取り組みを楽しんでもらえると良いですね。

本川…事業所を横断して人員や車を融通できるのは、ウエルグループの強みだと思います。地域の方々を招いて秋祭りを開催した際も、別の事業所にヘルプをお願いしました。この連携力を活かし、協力しながら取り組みを継続したいと思います。

■つながりを深め地域とともに歩む

Q…目指すグループホームの姿は？

服部…運営推進会議では、地域の民生委員の方々とつながりも生まれます。ここで築く関係や得られる情報から、新たな取り組みが生まれることもありますし、私たちが地域のお役に立てることも増えていくはずです。助け合い、協力し合える関係であり続けたいと思います。

大賀…会議では他の事業者の方々とも情報交換でき、施設運営や取り組みの参考になります。相互に高め合うことで、地域全体の支援の質が高まっていくと思います。また輝豊苑としては、今後は認知症力フエだけでなく、参加行事の幅をより広げていく予定です。

本川…施設単体ではできることが限られます。地域包括支援センターやご家族とも手を取り合い、関わりを広げていきたいと思っています。

画一的な支援ではなく個性を大切に

地域との交流でも、日頃のケアでも、大切なのはお一人ひとりが望む支援を提供することです。ニーズを細やかに汲み取り、その方らしい生活を支えています。

■一つの夢を実現

宙豊中では、琉球舞踊の師範だった利用者様の奥様が、お弟子さんと舞踊を披露してくださいました。かつてはご夫婦で施設を巡っていたそうで、「主人が元気なうちに、見せてあげたい」という奥様の思いを形にしました。奥様は「夢が一つ叶った」と大変喜ばれました。認知症を患っていらっしゃるご主人も、体が覚えているのか、自然と手拍子をさっていました。



■ご夫婦でのお食事



利倉清豊苑では、利用者様であるご主人と奥様の二人で外食を楽しんでいたいただきました。ご主人のために奥様がサポートされ、最後まで仲睦まじくお食事をされていた様子が印象的でした。ご主人は認知症を患っていらっしゃいますが、この時のお二人の様子は長年連れ添ってきたご夫婦そのもので、歩んでこられた年月が感じられました。